

## 施工説明書

### 2.7mmリフォーム用 USUI-TA [ウスイータ] 階段 品番：MYUシリーズ

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。

屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください。**

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

## 安全上のご注意

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。 ■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいけない内容です。
			実行しなければならない内容です。

## 警告

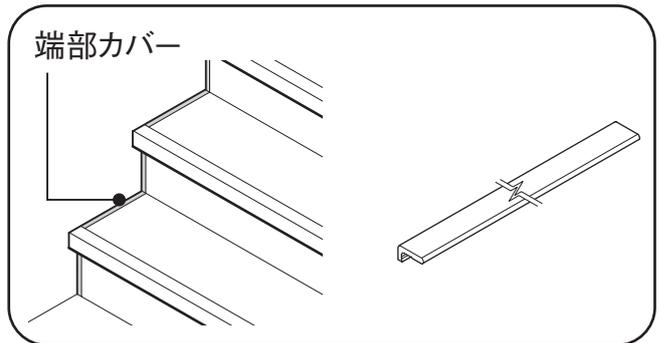
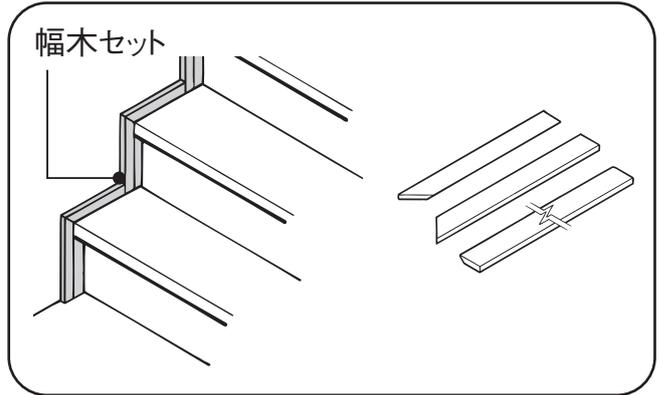
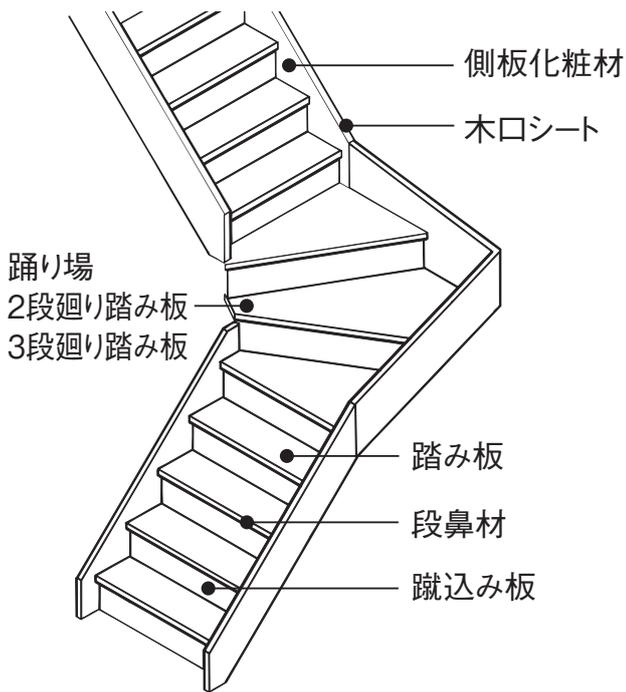
 禁止	<p>施工時に製品仕様を変えるような加工をしない仕様を変えると、けがをするおそれがあります。製品仕様を変えるような加工をした場合、品質保証責任を負いかねます。</p> <p>ワックスを使用しない ワックスを使用すると、滑落事故の原因となります。ワックスを使用する場合は、必ず滑り止め剤入り木質用ワックスを使用してください。</p>	 必ず守る	<p>樹脂カバーは、浮き上がり・めくれ上がりがないように取り付ける 守らないと、転落事故が起きたり、けがをする原因となります。</p> <p>養生シートは動かないように確実にとめる 守らないと、転落事故の原因となります。また傷が付くおそれがあります。</p> <p>接着剤を使用する際は、閉め切った場所で行わず、十分な換気をする 接着剤の容器などにある注意表示に従い、正しく使用してください。</p> <p>階段事故防止のため、建築基準法に基づいた寸法を必ず確保する 確保しないと転倒事故の原因となります。</p> <p>接着剤が硬化するまで(夏期:約1日 冬期:約2日)階段の昇降には十分注意する 転落事故が起こるおそれがあります。</p> <p>施工後は必ず確実に取り付いたことを確認する 確認しないと事故の原因となります。</p>
 必ず守る	<p>施工前に既存の構造物が積載過重に耐える構造であることを確認する(また下地補強を事前に行っておく)強度が十分でない場合、転落事故が起こるおそれがあります。</p> <p>段鼻材は必ずフィニッシュネイルを取り付ける フィニッシュネイルを取り付けないと、段鼻材および樹脂カバーが正しく取り付けできず、おそれがあり、けがをする原因となります。</p> <p>樹脂カバーを取り付ける前に、段鼻材表面の木くずやごみなどの汚れを必ず取り除く 守らないと、樹脂カバーが正しく取り付けられず、転落事故が起きたり、けがをする原因となります。</p>		

- ### 施工前のご注意
- 開梱後、製品に損傷がないことを確認してください。取り付け後の損傷に関しましては責任を負いかねます。
  - 製品は湿気や直射日光の当たる場所を避け、水平な場所に保管してください。反り、ねじれの原因となります。
  - 施工前に必ず既存の階段(踏み鳴りの有無)の状態を確認してください。  
リフォーム後も踏み鳴りが発生するおそれがあります。踏み鳴りが発生する場合は、補修してから施工を行ってください。

- 製品は既存の踏み板の厚みが40mm以下の対応です。
- 接着剤が付着した場合は、すぐにふき取ってください。接着剤は硬化するととれなくなります。
- 接着剤は必ず専用のウレタン接着剤(MLE050U)をご使用ください。  
表面のふくれ、接着不良によるはがれなどの原因となります。
- シンナー・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。  
表面のつやが変わったり、変色するおそれがあります。

# 各部のなまえ

[寸法単位：mm]

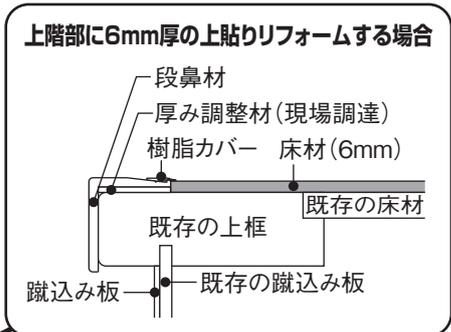
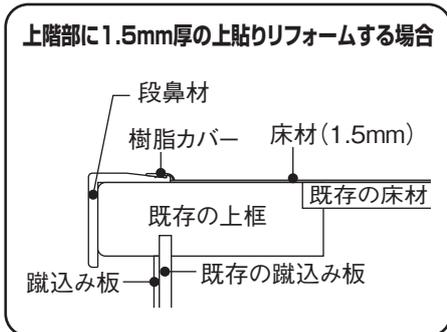
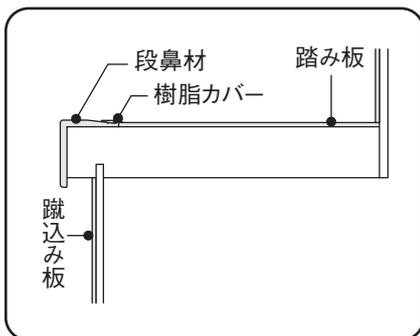


## 現場調達品

※品番の□は色を示す記号が入ります。

- ・仮釘
- ・下地材
- ・養生シート
- ・フロア用養生テープ
- ・フィニッシュネイル
- ・目地用コーキング(MT8□)
- ・クレヨンパテ(QPE83□)
- ・専用ウレタン接着剤(MLE050U)
- ・ゴム系接着剤  
(※VOC対策品をご使用ください)
- ・専用両面テープ(KEBTT48)
- ・ピンタッカー

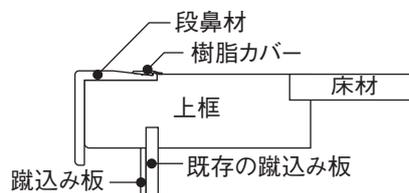
# 納まり



## 上階部の床材を張り替えリフォームする場合 または 床材のリフォームをしない場合

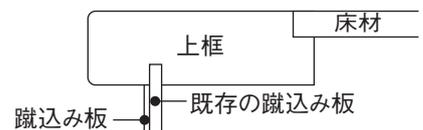
### 上框を化粧する場合

上框を1.5~2.7mm削り、段鼻材を取り付けてください。



### 上框を化粧しない場合

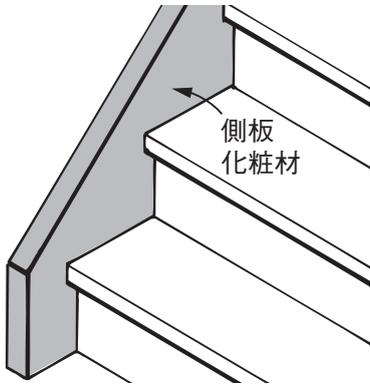
段鼻材は取り付けません。



■施工方法には、側面の納めかたによって側板化粧材を使う場合と幅木を使う場合、および端部カバーを使う場合があります。また、端部カバーは側板化粧材と併用することも可能です。

## A.側板化粧材を使う場合

小さなすき間はシーリング剤を充てんします。

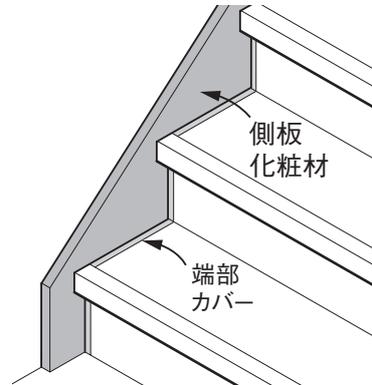


### 施工手順

- 既存階段の下地処理
- 1 側板化粧材の取り付け
  - 2 木口シートの取り付け
  - 3 踏み板の取り付け
  - 4 段鼻材の取り付け
  - 5 蹴込み板の取り付け
  - 6 上框部分の仕上げ
  - 7 床材の重ね貼り

### ※端部カバーを併用する場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を端部カバーで隠します。

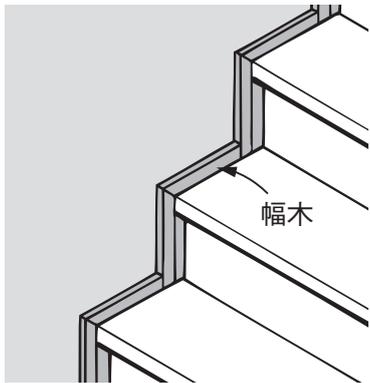


### 施工手順

- 既存階段の下地処理
- 1 側板化粧材の取り付け
  - 2 木口シートの取り付け
  - 3 踏み板の取り付け
  - 4 段鼻材の取り付け
  - 5 蹴込み板の取り付け
  - 6 端部カバーの取り付け
  - 7 上框部分の仕上げ

## B.幅木を使う場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を幅木で隠します。

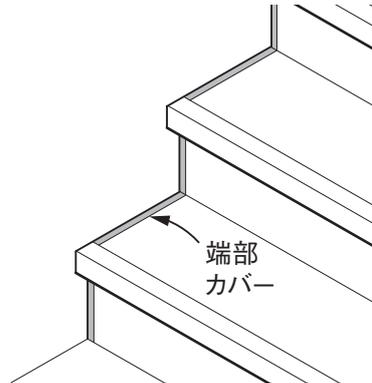


### 施工手順

- 既存階段の下地処理
- 1 踏み板の取り付け
  - 2 蹴込み板の取り付け
  - 3 幅木の取り付け
  - 4 段鼻材の取り付け
  - 5 上框部分の仕上げ
  - 6 床材の重ね貼り

## C.端部カバーを使う場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を端部カバーで隠します。



### 施工手順

- 既存階段の下地処理
- 1 踏み板の取り付け
  - 2 段鼻材の取り付け
  - 3 蹴込み板の取り付け
  - 4 端部カバーの取り付け
  - 5 上框部分の仕上げ
  - 6 床材の重ね貼り

## 施工前の確認

※施工前に必ず下記のことを確認してください。 [寸法単位：mm]

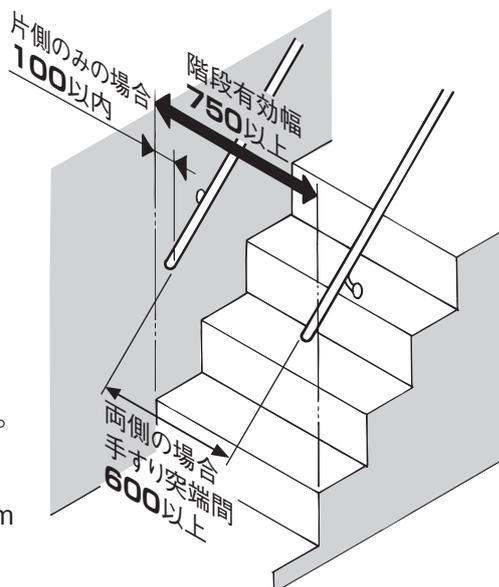
### 1 階段有効幅の確認

#### 階段有効幅寸法

階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。

〈手すりが片側の場合〉  
手すりの突出する部分が壁面仕上げ面から100mm以内であれば、階段有効幅の750mmに算入することができます。

〈手すりが両側の場合〉  
手すりの突端間が600mm以上あることが必要です。



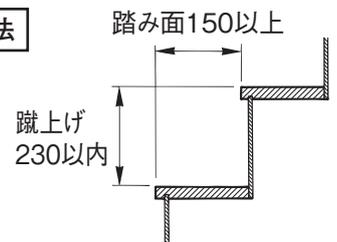
### 警告



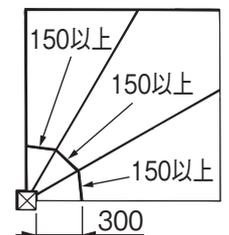
必ず守る

階段事故防止のため、建築基準法に基づいた寸法を必ず確保する  
確保しないと転倒事故の原因となります。

#### 踏み面・蹴上げ寸法



※廻り階段をされる場合は、90°で3段割り以内にしてください。

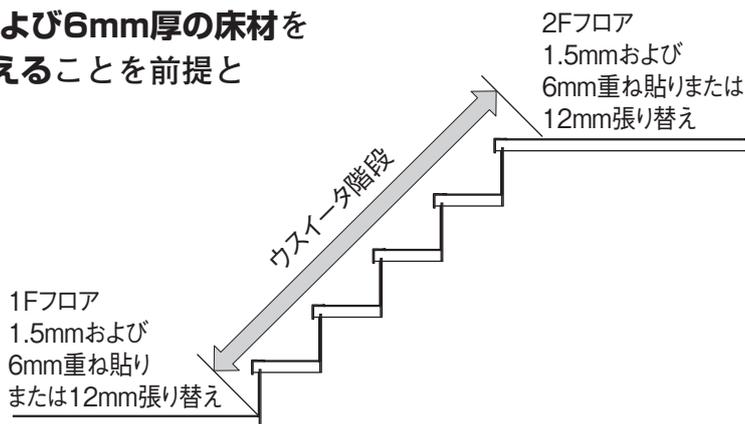


## 2 ウスイータ階段の納まりの確認

この商品は、各階のフロアを1.5mm厚および6mm厚の床材を重ね貼りまたは12mm厚の床材を張り替えることを前提としています。

### 注意

- 住宅（建築物）との兼ね合いがありますので、現場監督・建築士様などご相談のうえ、仕様を決定してください。
- 既存の階段への固定が不十分な場合、踏み鳴りのおそれがあります。ご注意ください。



## 施工のしかた

[寸法単位：mm]

### ■既存階段の下地処理

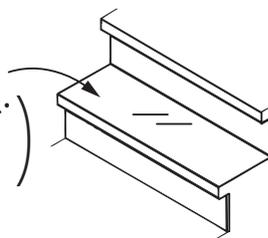
1. 幅木、カーペットなどを取り外す。
2. 既存階段の表面をサンダー・カンナなどで削り、ワックスや油分や塗膜などを取り除き、不陸を押さえ平滑にする。

### 注意

表面の汚れなどは必ず取り除いてください。表面に汚れなどが残っていると、接着不良の原因になります。

### 平滑にする

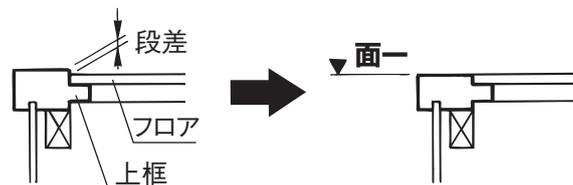
（カーペット・ワックス・油分・塗膜などはきれいに取り除く）



3. フロアと上框に段差がある場合には、サンダー・カンナなどで削り、段差をなくす。

### 注意

RCや鉄骨などの木下地がない階段には取り付けできません。合板などですて貼りをしてください。



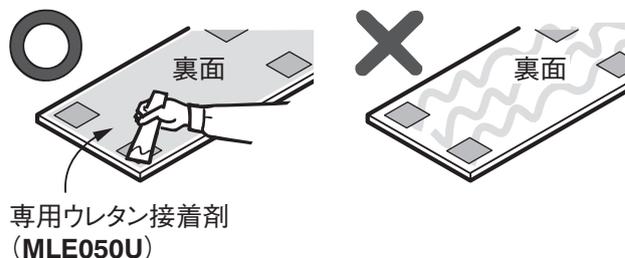
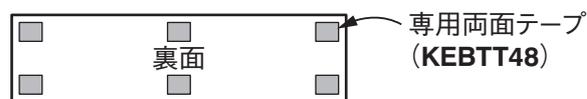
### 接着剤の塗布のしかた

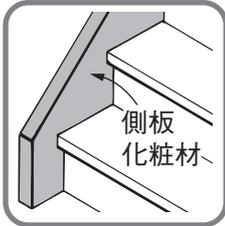
※必ず専用のウレタン接着剤（MLE050U）と両面テープ（KEBTT48）を使用してください。

右図の位置に専用両面テープを貼り、はく離紙をはがさずに、専用接着剤を同梱のヘラなどで全面に薄く均一に塗り広げてください。その後、はく離紙をはがしてください。

### 注意

- 接着剤がはみ出した場合は、すぐにふき取ってください。
- 接着剤を全面に塗布した後に、必ずはく離紙をはがしてください。はく離紙をはがした接着面に接着剤が付着することで、接着不良のおそれがあります。





# A.側板化粧材を使う場合

小さなすき間はシーリング剤を充てんします。

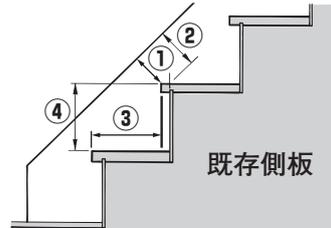
※下記の施工の前に、必ず既存階段の下地処理を行ってください。(4ページ参照)

## 7 側板化粧材の取り付け

- 注意**
- 側板化粧材を取り扱う際は、折れないように注意してください。
  - 側板化粧材は1枚より2丁取りしますので、寸法採りには十分注意してください。

### 1. 既存側板の寸法測定

図の①～④の寸法を測定する。



**①の寸法が10mm未満の場合**

下地材(現場調達)を既存側板に取り付ける。

**取り付ける**

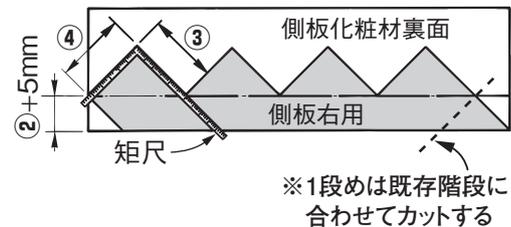
### 2. 側板化粧材(側板右用)のカット

側板化粧材裏面に寸法採りを行い、化粧面の形状に合わせて現場カットする。

※側板化粧材は3～4段の長さにカットしてください。

(図は4段の場合) 貼りずれを少なくできます。

※カット面は軽く面を取り(0.5mm程度)、ばりやめくれがないか確認してください。



### 3. 側板化粧材(側板左用)のカット

2.でカットした側板化粧材を裏返して使用し、カットする。

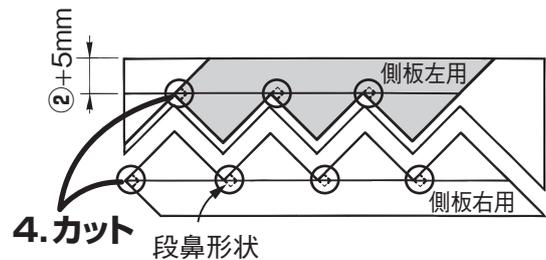
側板化粧材1枚から右用4段分・左用3段分をカットし、2枚目から右用3段分・左用4段分をカットしてください。

※カット面は軽く面を取り(0.5mm程度)、ばりやめくれがないか確認してください。

### 4. 側板化粧材(段鼻部)のカット

2. 3.でカットした側板化粧材の段鼻部をカットする。

※カット面は軽く面を取り(0.5mm程度)、ばりやめくれがないか確認してください。



### 5. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

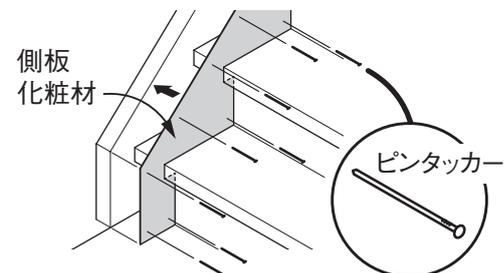
※右図のように納まります。段差・すき間などが発生した場合は、クレヨンパテ(QPE83□)で埋めてください。



### 6. 側板化粧材の取り付け

側板化粧材の裏面全体に専用ウレタン接着剤(MLE050U)を同梱のヘラ等で塗布し、ピンタッカーで固定する。

- 注意**
- 専用ウレタン接着剤は、同梱のヘラ等で薄く均一に伸ばしてください。
  - 浮きが無いようにしっかり圧着し、ピンタッカーで固定してください。

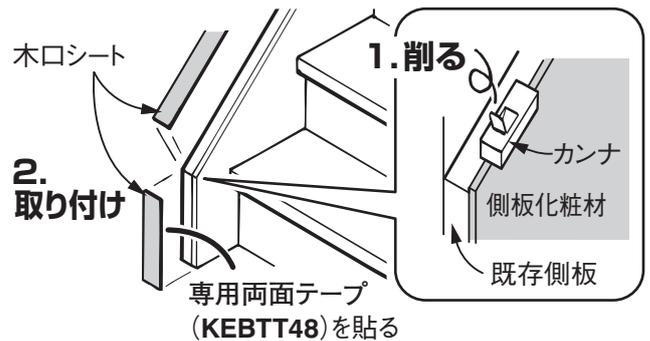


## 2 木口シートの取り付け

1. 既存側板よりはみ出した側板化粧材をカンナで削る。

2. 側板上面・側面に木口シートを専用両面テープ (KEBTT48) で接着する。

※両面テープは木口シートに貼り付けてください。



## 3 踏み板の取り付け

### 1. 幅カット

側板化粧材の内々寸法 (側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法) に合わせて、踏み板をカットする。

※カット面は軽く面を取り (0.5mm程度)、ばりやめくれがないか確認してください。

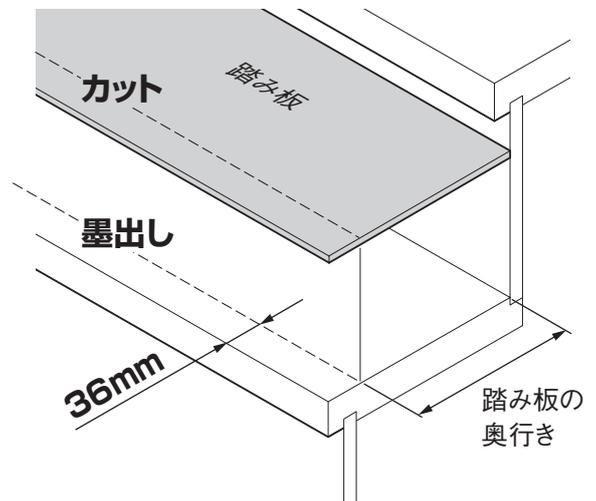
**注意** 端部カバーを使用する場合は、側板化粧材の内々寸法-4mm (側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法-4mm) に合わせて、踏み板をカットしてください。

### 2. 奥行きカット

既存踏み板前木端より36mmのところを墨出しする。

墨出しした寸法に合わせて、踏み板をカットする。

※カット面は軽く面を取り (0.5mm程度)、ばりやめくれがないか確認してください。



### 3. 納まりの確認

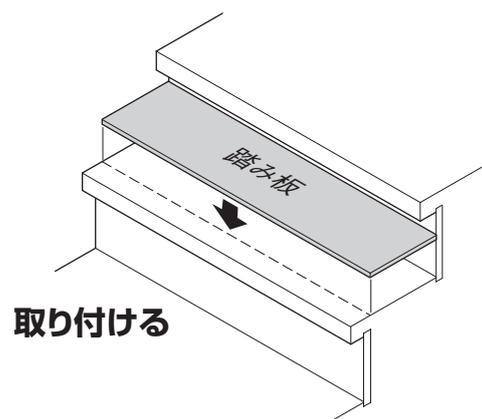
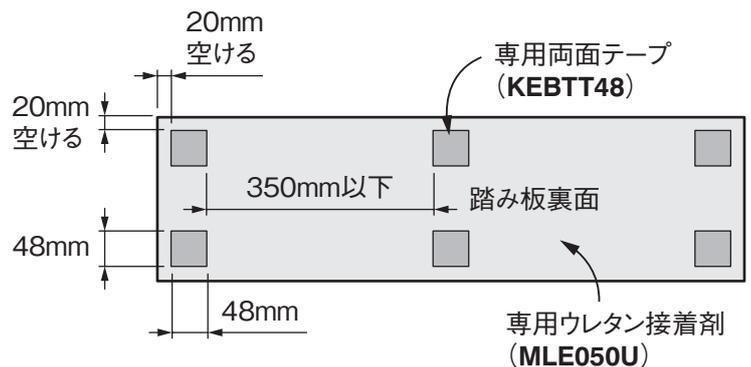
仮置きで納まりの確認をする。

### 4. 接着

踏み板裏面に右図のように専用両面テープ (KEBTT48) を貼る。踏み板裏面全体に、専用ウレタン接着剤 (MLE050U) を塗布する。専用両面テープのはく離紙をはがし、既存階段の踏み板に取り付ける。接着剤が硬化するまで (夏期: 約1日 冬期: 約2日) 養生する。

#### 注意

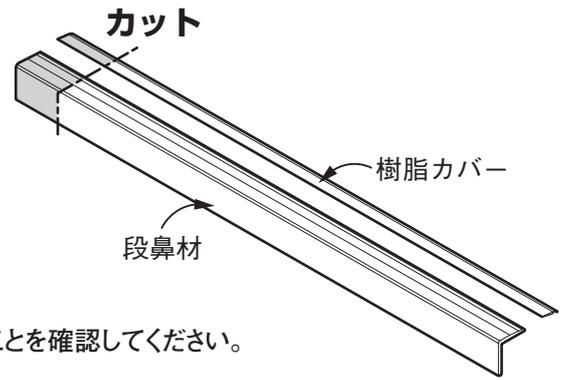
- 専用ウレタン接着剤は、同梱のヘラ等で薄く均一に伸ばしてください。塗布ムラにより、波打ちの原因となります。
- 踏み板は、足で踏み付けて十分に既存階段の踏み板に圧着させてください。※浮きや踏み鳴りの原因となります。



# 4 段鼻材の取り付け

## 1. カット

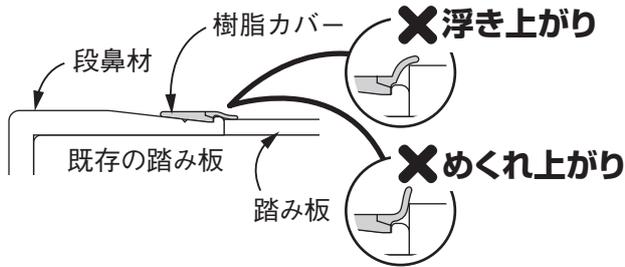
側板化粧材・幅木の内々寸法（側板化粧材・幅木・端部カバーを使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、段鼻材と樹脂カバーをカットする。



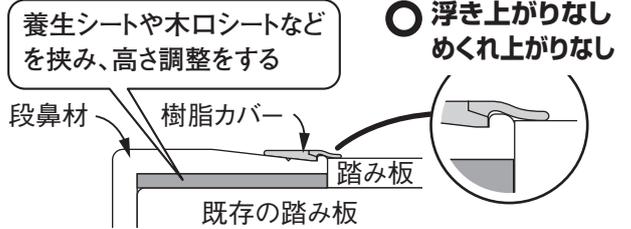
## 2. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

**注意** 樹脂カバーの「浮き上がり」「めくれ上がり」が発生しないことを確認してください。



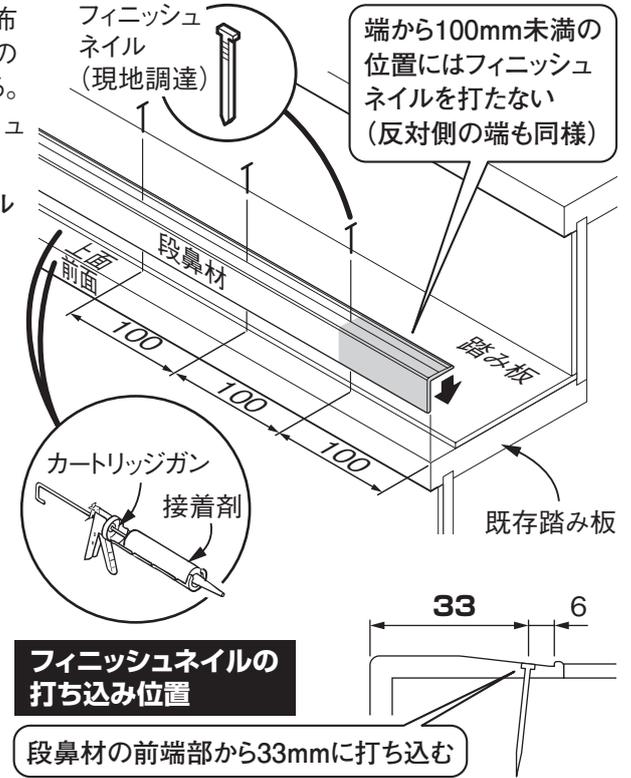
### 「浮き上がり」「めくれ上がり」が発生する場合



## 3. 段鼻材の取り付け

既存踏み板の上面・前面に専用ウレタン接着剤(MLE050U)を塗布し、段鼻材を取り付け、右図のように段鼻材の前端部から33mmの位置に、100mmピッチでフィニッシュネイル(現地調達)で固定する。  
※踏み板の両端から100mm未満の位置には、フィニッシュネイルを打たないでください。

- 注意**
- 施工前に試し打ちを行い、フィニッシュネイルの圧力を確認してから施工してください。
  - フィニッシュネイルの頭が飛び出した場合は金づちなどで頭を叩き、平滑にしてください。

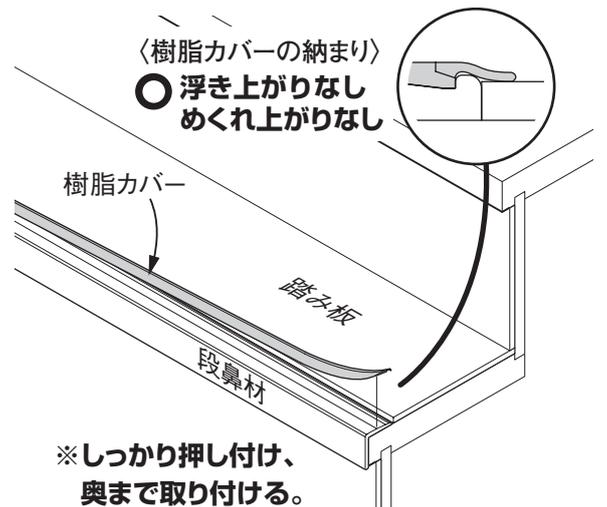


<b>警告</b>	
 必ず守る	段鼻材は必ずフィニッシュネイルを取り付ける 
	フィニッシュネイルを取り付けないと、段鼻材および樹脂カバーが正しく取り付けできないおそれがあり、けがをする原因となります。

## 4. 樹脂カバーの取り付け

樹脂カバー裏面の両面テープのはく離紙を少しずつはがしながら、右図のように正しい納まりになるよう段鼻材の端部に貼り付ける。

<b>警告</b>	
 必ず守る	樹脂カバーは、浮き上がり・めくれ上がらないように取り付ける 守らないと、転落事故が起きたり、けがをする原因となります。
	樹脂カバーを取り付ける前に、段鼻材表面の木くずやごみなどの汚れを必ず取り除く 守らないと、樹脂カバーが正しく取り付けられず、転落事故が起きたり、けがをする原因となります。



# 5 蹴込み板の取り付け

## 1. 幅カット

側板化粧材の内々寸法（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法）に合わせて、蹴込み板をカットする。

**注意** 端部カバーを使用する場合は、側板化粧材の内々寸法－4mm（側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法－4mm）に合わせて、踏み板をカットしてください。

※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。

## 2. 高さカット

既存階段の蹴込み板に合わせて、蹴込み板をカットする。

**注意** 既存の階段の高さ寸法は、各段によって多少の違いがあります。一段一段寸法を測ってカットしてください。

※カット面は軽く面を取り（0.5mm程度）、ばりやめくれがないか確認してください。

## 3. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

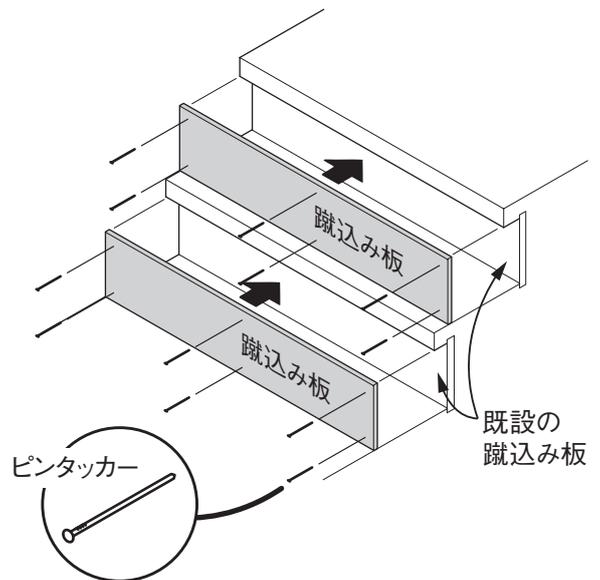
**注意** 無理に押し込むと、取れなくなるおそれがありますのでご注意ください。

## 4. 接着

蹴込み板裏面に専用ウレタン接着剤（MLE050U）を塗布し、ピンタッカーで既存階段の蹴込み板に取り付ける。

**注意**

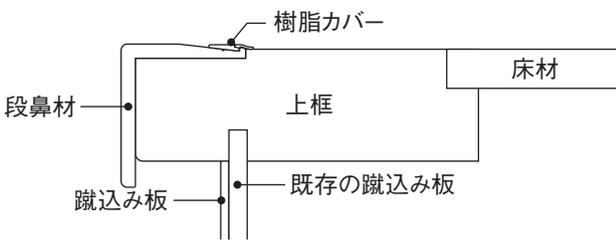
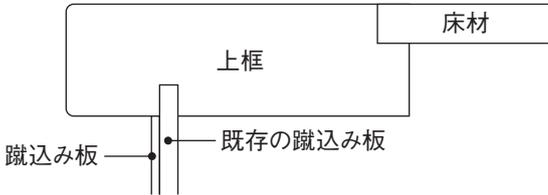
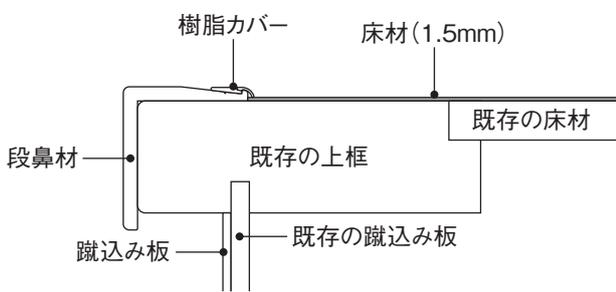
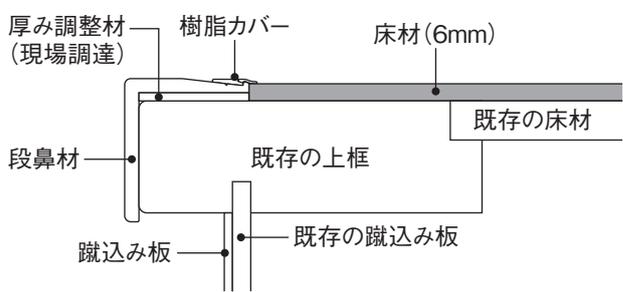
- 専用ウレタン接着剤は、同梱のヘラ等で薄く均一に伸ばしてください。
- 蹴込み板取り付け後、側板化粧材（ない場合は壁）や踏み板とのすき間の部分は目地用コーキングを使用してください。
- 浮きが無いようにしっかり圧着し、ピンタッカーで固定してください。



# 6 上框部分の仕上げ

## 1. 上階部の床との納まりの確認

上階部の床をどのようにリフォームするか確認する。

上階部の床材を張り替えリフォームする場合 または 床材のリフォームをしない場合	
<p><b>上框を化粧する場合</b></p> <p>上框を1.5~2.7mm削り、段鼻材を取り付けてください。</p> 	<p><b>上框を化粧しない場合</b></p> <p>段鼻材は取り付けません。</p> 
1.5mm厚の床材を上貼りリフォームする場合	6mm厚の床材を上貼りリフォームする場合
	

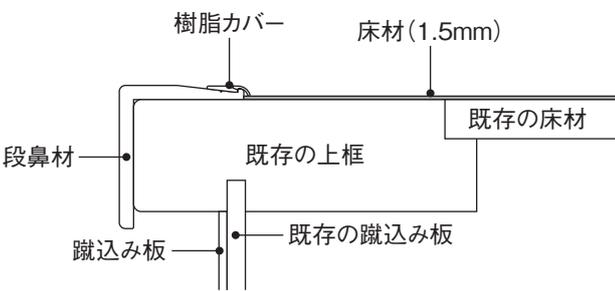
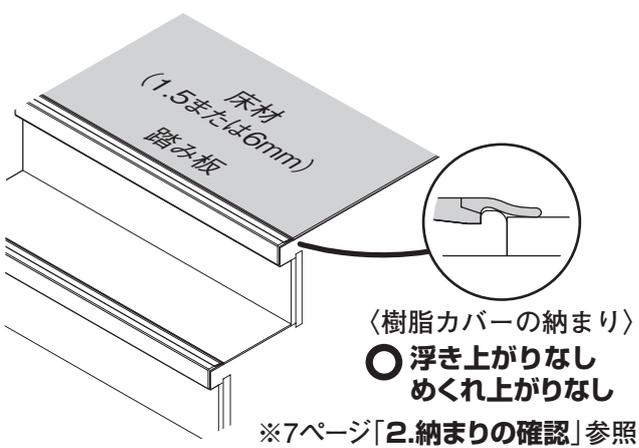
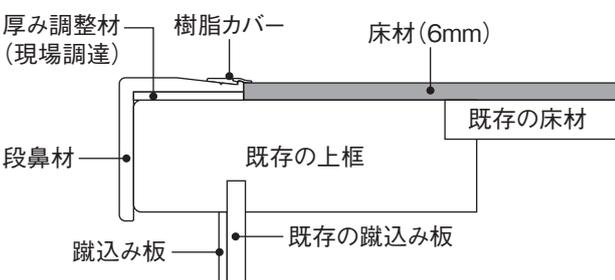
## 2. 段鼻材の取り付け

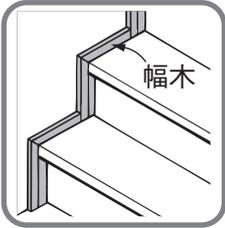
7ページ参照

# 7 床材の重ね貼り

階段部分を全て上貼りした後、上下階フロアに1.5mmまたは6mmの床材を重ね貼りする。

**注意** 上階フロアに重ね貼りする床材は段鼻材に直接突きつけてください。

<p><b>1.5mm厚の場合</b> ※図は上階フロアの場合</p> 	 <p>◎ 浮き上がりなし めくれ上がりなし</p> <p>※7ページ「2.納まりの確認」参照</p>
<p><b>6mm厚の場合</b> ※図は上階フロアの場合</p> 	



## B.幅木を使う場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を幅木で隠します。

※下記の施工の前に、必ず既存階段の下地処理を行ってください。(4ページ参照)

1 踏み板の取り付け 6ページ参照

2 蹴込み板の取り付け 8ページ参照

### 3 幅木の取り付け

#### 1.幅木(縦・横用)のカット

幅木の高さ・長さを既存階段の蹴上げ・踏み面に合わせてカットする。  
※縦勝ちの納まりになるようにカットしてください。

#### 2.幅木(蹴込み用)のカット

幅木を鼻の出の下部の形状に合わせてカットする。

#### 3.納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

#### 4.接着

幅木裏面に専用ウレタン接着剤(MLE050U)を塗布し、フィニッシュネイルを併用して取り付ける。

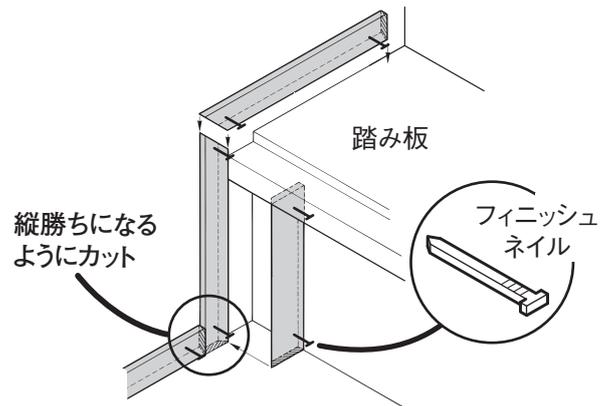
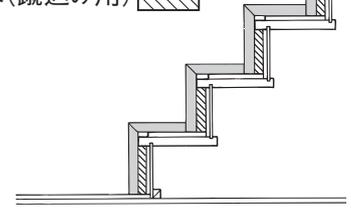
4 段鼻材の取り付け 7ページ参照

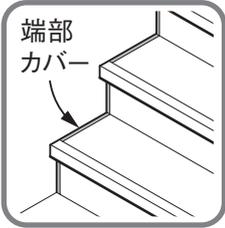
5 上框部分の仕上げ 9ページ参照

6 床材の重ね貼り 9ページ参照

#### 幅木の取り付け順序

- ① 幅木(縦・横用)
- ② 幅木(蹴込み用)





# C.端部カバーを使う場合

踏み板・蹴込み板と壁とのすき間を端部カバーで隠します。

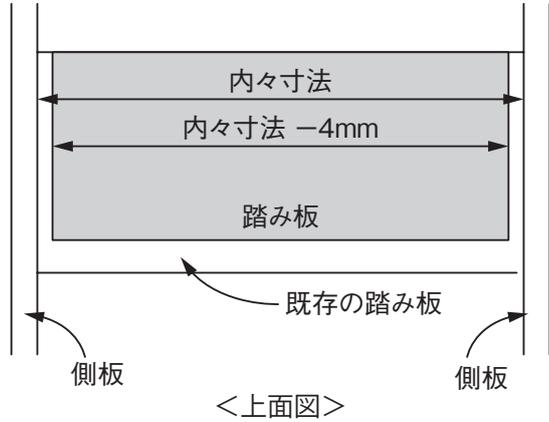
※下記の施工の前に、必ず既存階段の下地処理を行ってください。(4ページ参照)

1 側板化粧材の取り付け 5ページ参照

2 木口シートの取り付け 6ページ参照

3 踏み板の取り付け 6ページ参照

**注意** 端部カバーを使用する場合は、側板化粧材の内々寸法-4mm (側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法-4mm) に合わせて、踏み板をカットしてください。



4 段鼻材の取り付け 7ページ参照

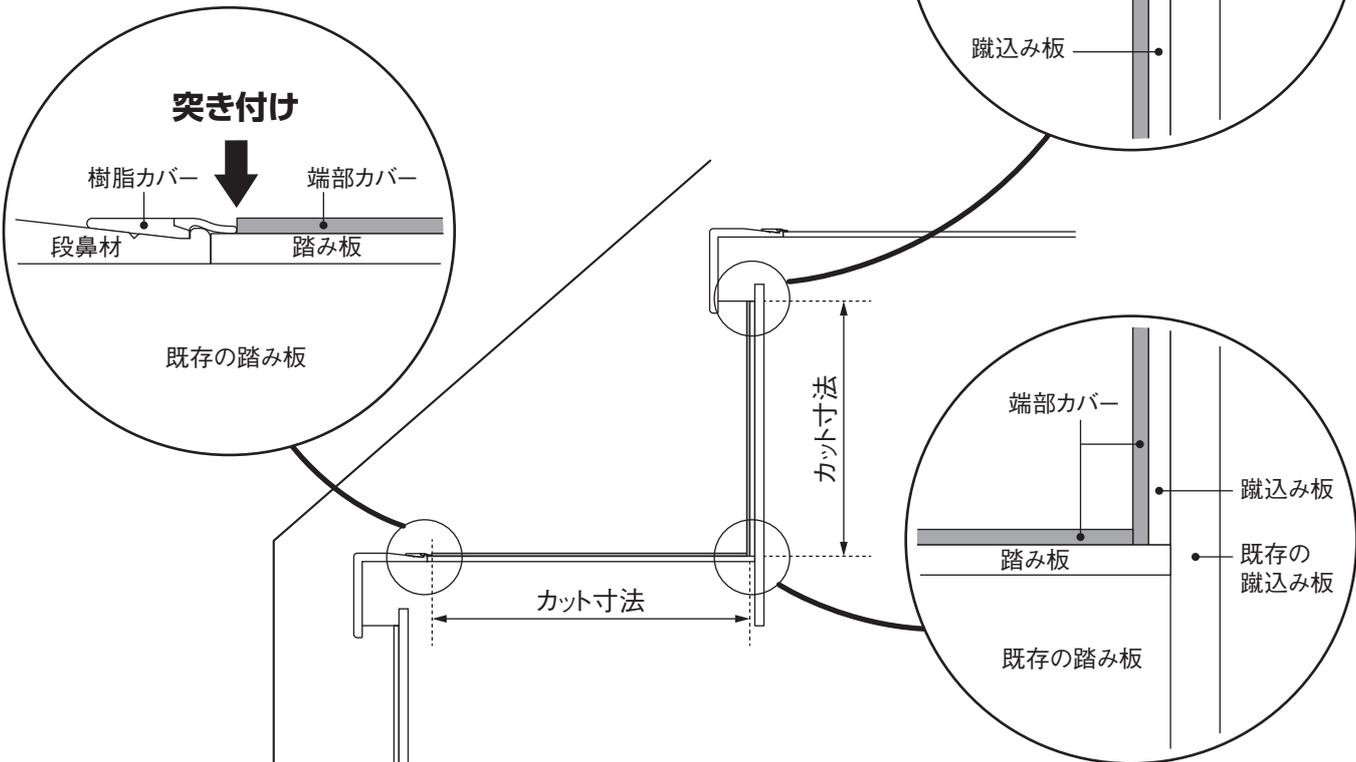
5 蹴込み板の取り付け 8ページ参照

**注意** 端部カバーを使用する場合は、側板化粧材の内々寸法-4mm (側板化粧材を使わない場合は壁の内々寸法-4mm) に合わせて、蹴込み板をカットしてください。

## 6 端部カバーの取り付け

### 1. 端部カバーのカット

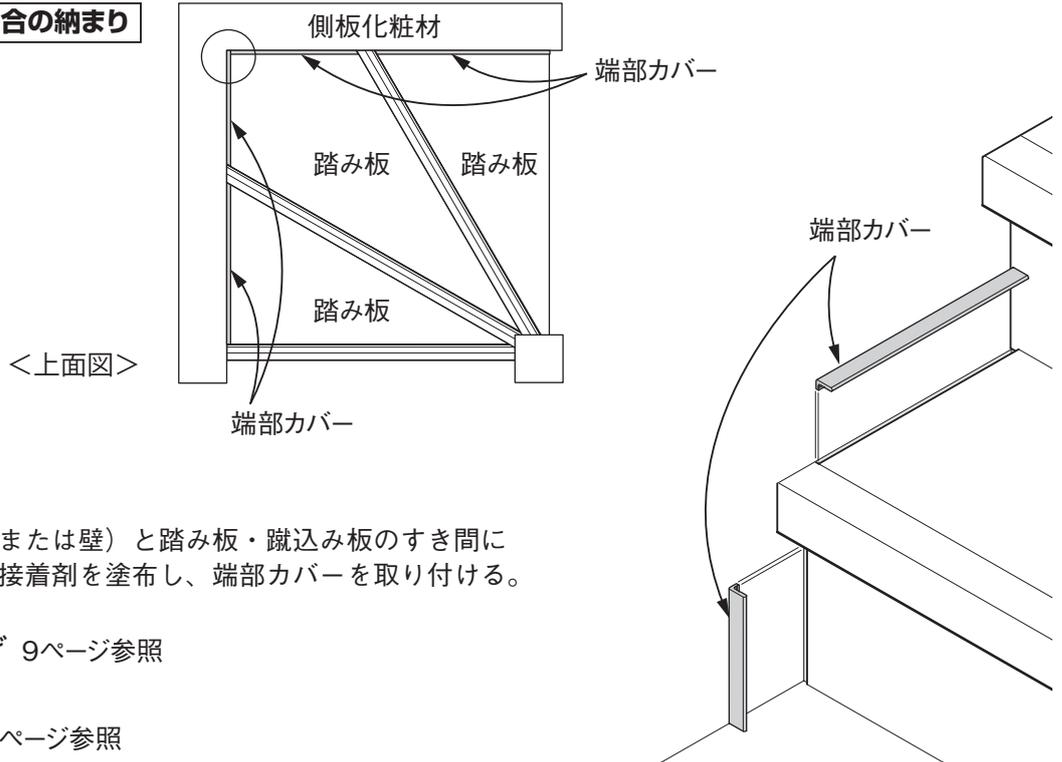
踏み板・蹴込み板に合わせて端部カバーをカットする。  
※踏み板部分は蹴込み板の前面から樹脂カバーの端部まで、蹴込み板部分は踏み板の上面から既存の踏み板の裏面までの寸法に合わせてカットしてください。



## 2. 納まりの確認

仮置きで納まりの確認をする。

### 3段廻りの場合の納まり



## 3. 取り付け

側板化粧材（または壁）と踏み板・蹴込み板のすき間に専用ウレタン接着剤を塗布し、端部カバーを取り付ける。

7 上框部分の仕上げ 9ページ参照

8 床材の重ね貼り 9ページ参照

# 施工の仕上げ

### 注意

- 養生する際はフロア用養生テープを使用してください。  
ガムテープなどの粘着力の強いものは使用しないでください。
- 養生をする前に必ず木くずやごみを取り除いてください。
  - すき間がある部分には目地用コーキングを使用してください。

### 警告



必ず守る

養生シートは動かないように確実にとめる  
確実にとまっていないと、転落事故の原因  
となります。また傷が付くおそれがあります。

# 施工後の確認

下記の表に従い、施工の仕上がりをチェックしてください。

チェック項目	チェック	チェック項目	チェック
接着剤が付着していませんか？		各部材が躯体に確実に固定されていますか？ (がたつきなどありませんか？)	

※内装工事が続いて実施されるときは、梱包材などで製品の養生を行ってください。

※梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

※引き渡しの際は、養生を取り外し、乾いた布でふいて仕上がりを再度確認してください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社  
建築システム事業部

〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2025

ラ-165P  
D0225-0